

### 3. 港湾の沿革

表Ⅶ-3-1 港湾の沿革

年号	沿 革
明治18年 (1885)	最上川(港口部)改修工事始まる
明治27年 (1894)	庄内大地震により酒田港は破壊的被害を受ける
大正3年 (1914)	陸羽西線開通し酒田駅落成
大正8年 (1919)	内務省が酒田築港を最上川改修に付帯して10ヵ年計画で着工
昭和4年 (1929)	第2種重要港湾に指定
昭和7年 (1932)	最上川河海分離工事完成
昭和8年 (1933)	酒田港修築事務所設置(山居町)
昭和18年 (1943)	酒田港工事事務所となる 運輸通信省第一港湾建設部設置
昭和23年 (1948)	全国14港湾とともに開港場に指定
昭和26年 (1951)	港湾法による重要港湾に指定
昭和33年 (1958)	1万トン岸壁起工式
昭和37年 (1962)	1万トン岸壁第1バース完成 第2バース着工(40年完成)
昭和40年 (1965)	袖岡埠頭5千トン岸壁着工(44年バース完成)
昭和41年 (1966)	港湾審議会が酒田港拡張計画決定 大浜埠頭竣功式
昭和45年 (1970)	北港建設起工式
昭和47年 (1972)	酒田港開港300周年記念式典
昭和48年 (1973)	北港埋立地南護岸及び北防波堤663m完成、北港浚渫着工
昭和49年 (1974)	北港古湊埠頭第3号岸壁完成 第1船入港し北港の開港式典
昭和54年 (1979)	北港北防波堤延長2,000m完成
昭和57年 (1982)	北港土砂処分場埋立護岸完成
昭和58年 (1983)	北港-13m物専護岸完成
昭和58年 (1983)	酒田港工事事務所開所50周年記念式典
昭和59年 (1984)	北港開港10周年記念式典
昭和60年 (1985)	北港北第二防波堤第1号ケーソン据付 -45m波浪観測塔設置
昭和61年 (1986)	第一港湾建設局100周年記念式典
昭和63年 (1988)	酒田港ポートルネッサンス21調査開始
平成元年 (1988)	波エネルギー吸収型防波堤実証実験開始 (ケーソン据付、発電、各種計測開始)
平成4年 (1992)	新航路「東方水上シルクロード」開設 酒田港開港500周年記念式典
平成5年 (1993)	多目的大型岸壁(-14m)着工
平成6年 (1994)	北港開港20周年記念式典
平成7年 (1995)	酒田港-釜山港間定期コンテナ航路開設
平成8年 (1996)	耐震強化岸壁(-10m)着工
平成9年 (1997)	酒田港湾工事事務所に名称変更
平成10年 (1998)	酒田北港緑地展望台のオープン 酒田港-釜山港間定期コンテナ航路週2便化
平成12年 (2000)	酒田港国際ターミナル(多目的大型岸壁)供用開始
平成13年 (2001)	国土交通省に移行、東北地方整備局酒田港湾工事事務所となる 東北横断自動車道酒田線「酒田みなとI.C.」開通
平成14年 (2002)	酒田港耐震強化岸壁整備完了

年号	沿革
平成 15 年 (2003)	酒田港湾事務所に名称変更 総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）の指定を受ける
平成 16 年 (2004)	SOLAS 条約発効に基づき、保安対策開始 酒田港国際定期コンテナ航路週 1 便に減便 北港宮海ふ頭第 2 号岸壁完成
平成 17 年 (2005)	酒田港国際定期コンテナ航路週 2 便復活 本港地区が「みなとオアシス酒田」として認定
平成 18 年 (2006)	交通政策審議会第 18 回港湾分科会で酒田港港湾計画の改訂決定
平成 19 年 (2007)	酒田港国際定期コンテナ航路週 1 便に減便 酒田港国際定期コンテナ航路週 2 便復活
平成 20 年 (2008)	
平成 21 年 (2009)	家畜伝染病予防法に基づく「穀物のわら及び飼料用の乾草」の輸入港に指定
平成 22 年 (2010)	重点港湾に選定
平成 23 年 (2011)	酒田港国際定期コンテナ航路週 2 便復活 山形県庄内総合支庁建設部港湾事務所を山形県県土整備部港湾事務所と改称 西ふ頭くん蒸上屋が中国向け精米くん蒸倉庫として登録 酒田港国際定期コンテナ航路週 1 便が中国へ延伸 リサイクル貨物機能に係る日本海側拠点港に選定
平成 25 年 (2013)	古湊ふ頭上屋供用開始 コンテナ荷役機械「リーチスタッカー」供用開始 航路再編により韓国航路週 2 便となる 第 2 号コンテナクレーン供用開始
平成 26 年 (2014)	酒田港国際定期コンテナ航路開設以来初となる週 3 便化 コンテナ荷役機械「リーチスタッカー（2 台目）」供用開始
平成 27 年 (2015)	酒田港国際定期コンテナ航路開設以来初となる週 4 便化 酒田港国際定期コンテナ航路開設以来初となる週 5 便化 酒田港国際定期コンテナ航路開設以来初となる週 6 便化 コンテナ荷役機械「リーチスタッカー（3 台目）」供用開始 酒田港国際定期コンテナ航路開設以来初となる週 7 便化（中国航路 1 便減、韓国航路 2 便増）
平成 28 年 (2016)	酒田港国際定期コンテナ航路週 6 便に減便 酒田港国際定期コンテナ航路週 7 便復活 高砂ふ頭コンテナヤード拡張工事の完成・供用開始 酒田港国際定期コンテナ航路週 6 便に減便
平成 29 年 (2017)	酒田港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2016」を受賞 酒田港国際定期コンテナ航路週 5 便に減便 古湊ふ頭大型客船対応施設（防舷材、係船柱）完成 酒田港国際定期コンテナ航路週 4 便に減便 酒田港国際定期コンテナ航路週 3 便に減便 本県初の外国船籍クルーズ船「コスタネオロマンチカ」が寄港
平成 30 年 (2018)	高砂ふ頭コンテナ管理上屋（管理棟、トラックゲート）供用開始

## 4. 港湾施設の現況

### (1) 水域施設

表Ⅶ-4-1 航路

航路名	延長 (m)	水深 (m)	幅 (m)
大浜航路	1,500	-10	160~180
袖岡航路	1,600	-7.5	70~150
北港航路	1,422	-14	330

資料：港湾台帳

表Ⅶ-4-2 泊地

泊地名	泊地面積 (㎡)	内訳 (㎡)				
		-4.5m未満	-4.5~-7.5m	-7.5~-9.0m	-9.0~-12m	-12m以上
本港泊地	345,175	131,071	143,504	31,900	78,100	—
外港泊地	179,925	—	—	—	—	179,925
北港泊地	916,925	19,432	—	128,015	209,758	585,152

資料：港湾台帳

### (2) 外郭施設

表Ⅶ-4-3 防波堤

施設区分	名称	延長 (m)
防波堤	北防波堤	665
	南防波堤	875
	南防波堤	200
	南防波堤	1,001
	袖岡船だまり防波堤	414
	第1船だまり防波堤	32
	北防波堤	2,012
	北防波堤	311
	第2北防波堤	1,281
	古湊木材泊地防波堤	170
	宮海船だまり防波堤	95
	防除堤	75
	漁港区波除堤	20

資料：港湾台帳

## (3) 係留施設

表Ⅶ-4-4 係留施設(公共)

地区	施設名	延長 (m)	水深 (m)	バース数	管理者
本港	大浜埠頭第1号岸壁	330	-9.0	2	山形県
	大浜埠頭第2号岸壁	90	-5.5	1	〃
	西埠頭岸壁	185	-10.0	1	〃
	西埠頭岸壁	53	-4.5	1	〃
	西埠頭(-5.5m)岸壁	180	-5.5	2	〃
	東埠頭新町岸壁	260	-7.5	2	〃
	東埠頭船場町岸壁	360	-5.5	4	〃
	東埠頭船場町第2岸壁	195	-4.5	3	〃
	水産第1岸壁	140	-4.5	—	〃
	水産第2岸壁	180	-4.5	—	〃
	水産第2岸壁(-5.5m)	196	-5.5	—	〃
	袖岡埠頭岸壁	390	-7.5	3	〃
	外港	高砂埠頭第2号岸壁	430	-14.0	1
北港	古湊埠頭第1号岸壁	270	-13.0	1	〃
	古湊埠頭第2号岸壁	185	-10.0	1	〃
	古湊埠頭第3号岸壁	185	-10.0	1	〃
	宮海埠頭第2号岸壁	170	-10.0	1	〃
	宮海埠頭第3号岸壁	130	-7.5	1	〃
	宮海埠頭第4号岸壁	130	-7.5	1	〃
	宮海埠頭第5号岸壁	130	-7.5	1	〃

資料：港湾台帳

表Ⅶ－４－５ 係留施設（専用）

地区	施設名	延長 (m)	水深 (m)	バース 数	階級 (D/W)	管理者
本港	大浜石油棧橋	137,94	-7.5, -7.0	2	5,000	東西オイルターミナル
北港	酒田共同火力専用岸壁	270	-14.0	1	50,000	酒田共同火力発電（株）
	酒田共同火力専用岸壁	160	-10.0	1	15,000	酒田共同火力発電（株）
	酒田共同火力揚油 ドルフィン	324	-7.5	2	5,000	酒田共同火力発電（株）
	青南商事専用岸壁	186	-7.5	1	5,000	（株）青南商事

資料：港湾台帳

## (4) 荷捌き施設及び保管施設

表Ⅶ-4-6 上屋

地区	名称	床面積 (㎡)	管理者
本港	大浜埠頭上屋	2,000	山形県
	西埠頭上屋	2,047	〃
	東埠頭上屋	1,185	〃
外港	高砂埠頭東上屋 (CFS)	1,392	〃
	高砂埠頭西上屋	3,033	〃
	高砂埠頭コンテナ管理上屋	648	〃
北港	古湊埠頭上屋	2,012	〃
	宮海埠頭上屋	3,000	〃

資料：港湾台帳

表Ⅶ-4-7 野積場

地区	施設名	面積 (㎡)	管理者
本港	大浜埠頭第1野積場	17,220	山形県
	大浜埠頭第2野積場	13,990	〃
	大浜埠頭第3野積場	6,157	〃
	西埠頭第1野積場	10,910	〃
	西埠頭第2野積場	6,020	〃
	第1船だまり野積場	1,950	〃
	山居町野積場	2,670	〃
	下瀬野積場	15,370	〃
	袖岡埠頭野積場	10,600	〃
	袖岡船だまり第1野積場	11,490	〃
	袖岡船だまり第2野積場	31,000	〃
北港	古湊埠頭第1号野積場	17,155	〃
	古湊埠頭第2号野積場	26,723	〃
	古湊埠頭第3号野積場	32,106	〃
	宮海埠頭第2号野積場	9,606	〃
	宮海埠頭第3号野積場	5,400	〃
	宮海埠頭第4号野積場	7,097	〃
	宮海埠頭第5号野積場	8,520	〃

資料：港湾台帳

## (5) 臨港交通施設

表Ⅶ-4-8 臨港道路

施設名	延長 (m)	幅員 (m)	管理者
大浜袖岡線	6,489.50	7.00	山形県
石油基地線	1,008.70	6.00	〃
大浜光ヶ丘線	824.00	6.50	〃
西埠頭運河線	655.40	6.00	〃
大浜運河線	919.60	5.50	〃
大浜西埠頭線	92.40	5.50	〃
西埠頭線	819.00	6.00	〃
南新町線	779.20	6.00	〃
第1船だまり線	680.80	6.50	〃
船場町線	992.40	6.50	〃
新井田川線	446.10	6.00	〃
山居町線	185.70	6.50	〃
入船町線	187.50	4.00	〃
袖岡埠頭線	509.50	6.00	〃
袖岡線	508.10	6.00	〃
最上川線	991.4	6.00	〃
光ヶ丘線	606.50	6.00	〃
古湊埠頭線	574.10	13.00	〃
古湊線 (A)	986.70	13.00	〃
古湊線 (B)	939.00	6.00	〃
大浜宮海線	3,746.30	13.00	〃
宮海線	3,240.00	12.50	〃
宮海北護岸線 (A)	656.00	6.50	〃
宮海北護岸線 (B)	927.00	6.50	〃
大浜線	1,152.30	7.00	〃
外港埠頭2号線	467.20	13.10	〃
宮海岸壁埠頭線	614.00	7.00	〃
高砂埠頭線	249.80	6.00	〃
酒田臨海1号線	776.00	7.00	〃
酒田臨海2号線	80.00	12.00	〃

資料：港湾台帳

## 5. 過去の計画一覧

表Ⅶ-5-1 港湾審議会の経緯

時期	計画名	計画内容
昭和41年3月	港湾審議会 第26回 計画部会 改訂	北港地区：北防波堤 2,500m
		航路泊地浚渫(-7.5~-10.0) 5,122,000 m <sup>3</sup>
		防砂堤 400m
		水深-10m岸壁 555m
		水深-7.5m岸壁 650m
		物揚場(-2.0) 100m
		取付護岸 100m
		護岸 1,610m
		木材整理場水路護岸 1,890m
		木材投下泊地(-7.5) 123,000 m <sup>2</sup>
		木村整理場(-2.0) 251,000 m <sup>2</sup>
		臨港道路 5,650m
		臨港鉄道 6,000m
		けい船浮標 4基
		埠頭用地 371,000 m <sup>2</sup>
		荷役機械 4基
		上屋 5棟
		貯木場(-2) 205,000 m <sup>2</sup>
		本港地区：南防波堤(嵩上) 200m
		”(補強) 132.5m
		北防波堤(嵩上) 453m
		導流堤(補強) 630m
		航路泊地浚渫(-7.0~-7.5) 1,846,700 m <sup>3</sup>
		泊地浚渫(-2~-5.5) 130,000 m <sup>3</sup>
		水深-7.5m岸壁 710m
		水深-4.5~5.5m岸壁 150m
		物揚場(嵩上) 350m
		”(改造) 230m
		防波堤(補強) 176m
		道路(舗装) 82,449 m <sup>2</sup>
		エプロン(舗装) 1,260 m <sup>2</sup>
		上屋 0.7棟
		荷役機械 2基
貯木場 2箇所		
昭和45年8月	港湾審議会 第43回 計画部会 改訂	北港地区：北防波堤 2,500m
		防砂堤 800m
		波除堤 130m
		航路浚渫(-10~-13) 11,593,000 m <sup>3</sup>
		泊地浚渫(-4~-13) 3,196,000 m <sup>3</sup>
		木材整理場(-2) 49,000 m <sup>3</sup>
		岸壁(-13.0m) 270m
		”((-10.0m) 555m
		”((-7.5m) 520m
		物揚場(-4.0m) 507m
		”((-2.0m) 200m
		ドルフィン(-10m) 1バース
		取付護岸 120m
		護岸(木材整理場) 490m
		消波護岸 200m
		仮護岸 1,460m
		臨港道路 12,550m
		荷役機械 5基
		上屋 7棟
		埠頭用地 454,000 m <sup>2</sup>



		曳船 2 隻 工業用地造成 4,230,000 m <sup>2</sup> 臨海工業用地埋立 1,508,000 m <sup>2</sup> 臨灣鐵道 6km 本港地区：北防波堤（嵩上） 520m 南 “ （ ” ） 840m 航路浚渫（-7.5~-10） 450,000 m <sup>3</sup> 泊地浚渫（-2.0~10） 175,440 m <sup>3</sup> 岸壁（-7.5m） 320m “ （-4.5~-5.5m） 37m 岸壁改造（-4.5m） 140m 物揚場 657m 物揚場改造 495m 船揚場 25m 防波堤 25m 導流堤（補強） 90m 防波護岸（ ” ） 220m 護岸（ ” ） 375m 道路（舗装） 2,875m “ （立体交差） 1,075m 荷役機械 3 基 上屋 1 棟 埠頭用地 78,053 m <sup>2</sup>
--	--	--

時期	計画名	計画内容												
昭和 50 年 3 月	港湾審議会 第 67 回 計画部会 一部変更	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(本港地区) 汚泥浚渫</td> <td>水面積 約 37,000 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>(本港地区) 緑 地</td> <td>約 30,000 m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	数 量	(本港地区) 汚泥浚渫	水面積 約 37,000 m <sup>2</sup>	(本港地区) 緑 地	約 30,000 m <sup>2</sup>						
工 種	数 量													
(本港地区) 汚泥浚渫	水面積 約 37,000 m <sup>2</sup>													
(本港地区) 緑 地	約 30,000 m <sup>2</sup>													
昭和 50 年 12 月	港湾審議会 第 71 回 計画部会 一部変更	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(本港地区) 南防波堤</td> <td>500m</td> </tr> <tr> <td>北防波堤（撤去）</td> <td>100m</td> </tr> <tr> <td>航路（-11m）</td> <td>170,000 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>(北港地区) 北防波堤</td> <td>300m</td> </tr> <tr> <td>航路（-14m）</td> <td>260,000 m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	数 量	(本港地区) 南防波堤	500m	北防波堤（撤去）	100m	航路（-11m）	170,000 m <sup>3</sup>	(北港地区) 北防波堤	300m	航路（-14m）	260,000 m <sup>3</sup>
工 種	数 量													
(本港地区) 南防波堤	500m													
北防波堤（撤去）	100m													
航路（-11m）	170,000 m <sup>3</sup>													
(北港地区) 北防波堤	300m													
航路（-14m）	260,000 m <sup>3</sup>													

時期	計画名	計画内容										
昭和 52 年 3 月	港湾審議会 第 77 回 計画部会 一部変更	<table border="1" data-bbox="772 264 1264 568"> <thead> <tr> <th data-bbox="772 264 1053 322">工 種</th> <th data-bbox="1053 264 1264 322">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="772 322 1053 380">水深－4.5 岸壁</td> <td data-bbox="1053 322 1264 380">380m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="772 380 1053 439">埠頭用地</td> <td data-bbox="1053 380 1264 439">10,000 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td data-bbox="772 439 1053 497">泊地浚渫－4.5m</td> <td data-bbox="1053 439 1264 497">30,000 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td data-bbox="772 497 1053 568">水面貯木場（撤去）</td> <td data-bbox="1053 497 1264 568">40,000 m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	数 量	水深－4.5 岸壁	380m	埠頭用地	10,000 m <sup>3</sup>	泊地浚渫－4.5m	30,000 m <sup>2</sup>	水面貯木場（撤去）	40,000 m <sup>2</sup>
工 種	数 量											
水深－4.5 岸壁	380m											
埠頭用地	10,000 m <sup>3</sup>											
泊地浚渫－4.5m	30,000 m <sup>2</sup>											
水面貯木場（撤去）	40,000 m <sup>2</sup>											
昭和 53 年 12 月	港湾審議会 第 84 回 計画部会 一部変更	<table border="1" data-bbox="746 761 1289 940"> <thead> <tr> <th data-bbox="746 761 1107 819">工 種</th> <th data-bbox="1107 761 1289 819">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="746 819 1107 940">(北港地区) 土砂処分用地（護岸）</td> <td data-bbox="1107 819 1289 940">1,350m</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	数 量	(北港地区) 土砂処分用地（護岸）	1,350m						
工 種	数 量											
(北港地区) 土砂処分用地（護岸）	1,350m											
昭和 57 年 8 月	港湾審議会 第 99 回 計画部会 改訂	<p data-bbox="644 1052 746 1079">本港地区</p> <p data-bbox="695 1084 1289 1240">袖岡地区：南防波堤 822.3m 南防波堤（改良） 375.9m 波除防波堤（改良） 400m 物揚場（－2）（改良） 100m 物揚場（－2） 280m (348,000 m<sup>2</sup>)</p> <p data-bbox="826 1272 1289 1339">航路（埋没）（－10） 630,000 m<sup>3</sup> (80,000 m<sup>2</sup>)</p> <p data-bbox="826 1344 1289 1464">航路（拡幅）（－10） 30,000 m<sup>3</sup> 航路（北防撤去） 200m 港湾施設用地 3,000 m<sup>2</sup> 道路 1,710 m<sup>2</sup></p> <p data-bbox="695 1469 1289 1590">大浜地区：防砂堤（改良） 42m 航路（護岸改良） 300m 航路（防砂堤撤去） 50m 道路 4,680 m<sup>2</sup></p> <p data-bbox="670 1594 1289 1783">西埠頭地区：防波堤（波除） 40m 岸壁（－5.5）（改良） 180m さん橋 210m 泊地（－5.5） 4,000 m<sup>2</sup> 港湾施設用地 2,000 m<sup>2</sup> 道路 5,071 m<sup>2</sup></p> <p data-bbox="670 1787 1289 1877">東埠頭地区：岸壁（－5.5）（改良） 180m 泊地（－5.5） 13,500 m<sup>3</sup> 港湾施設用地 5,000 m<sup>2</sup></p> <p data-bbox="721 1881 1289 2067">漁港区：A 物揚場（－2） 100m B 物揚場（－2） 387m A 泊地（－2） 2,100 m<sup>3</sup> B 泊地（－2） 16,600 m<sup>3</sup> 港湾施設用地 3,000 m<sup>2</sup> 道路 1,806 m<sup>2</sup></p>										

		外港地区：岸壁（－12） 240m 航路（－12） 250,000 m <sup>3</sup> 泊地（－12） 650,000 m <sup>3</sup> 港湾施設用地 5,000 m <sup>2</sup> 道路 12,835 m <sup>2</sup> 緑地 310,000 m <sup>2</sup> 埠頭用地 43,000 m <sup>2</sup> 上屋 1 棟 北港地区：北防波堤 2,003.8m 北防波堤（改良） 619.7m 岸壁（－13） 21.6m 岸壁（－10） 185m 岸壁（－7.5） 520m 航路（－13） 360,000 m <sup>3</sup> 泊地（－13） 2,760,000 m <sup>3</sup> "（－13） 1,909,000 m <sup>3</sup> "（－12） 1,793,000 m <sup>3</sup> "（－10） 1,648,000 m <sup>3</sup> "（－7.5） 365,000 m <sup>3</sup> 港湾施設用地 14,000 m <sup>2</sup> 道路 39,019 m <sup>2</sup> 道路 14,586 m <sup>2</sup> 道路 16,125 m <sup>2</sup> 立体交差 1 基 立体交差 1 基 緑地 14,000 m <sup>2</sup> 埠頭用地 1,347,000 m <sup>2</sup> 上屋 1 棟 荷役機械 2 基 工業用地 3,552,000 m <sup>2</sup> 岸壁（－12） 240m 岸壁（－10） 370m 泊地（－12） 303,000 m <sup>3</sup> 泊地（－10） 343,000 m <sup>3</sup>
昭和 58 年 11 月	第 8 回 地方港湾審議会 軽易な変更	（臨港交通施設計画） 本港地区：臨港道路大浜西埠頭線の追加
平成 4 年 1 月	第 12 回 地方港湾審議会 軽易な変更	（公共埠頭計画） 本港地区：岸壁（－5.5m）200m に変更 （泊地計画） 本港地区：岸壁泊地（－5.5m）34,600 m <sup>2</sup> の追加
平成 5 年 3 月	港湾審議会 第 144 回 計画部会 改訂	本港地区：南防波堤 407m 防波堤撤去 200m 港奥水産物揚場（－3.0） 302m 大浜航路 7.3ha 泊地－3.0m 0.8ha 大浜袖岡線 255m （大浜運河 PBS） 栈橋 150m 係船杭 130 本 ボートヤード 1,228 m <sup>2</sup> 駐車場 4,300 m <sup>2</sup> 波除堤 40m 船揚場 20m （第 2 船溜まり PBS） 栈橋 78m 係船杭 75 本 ボートヤード 16,100 m <sup>2</sup> 駐車場 2,808 m <sup>2</sup> 上下架装置 1 基

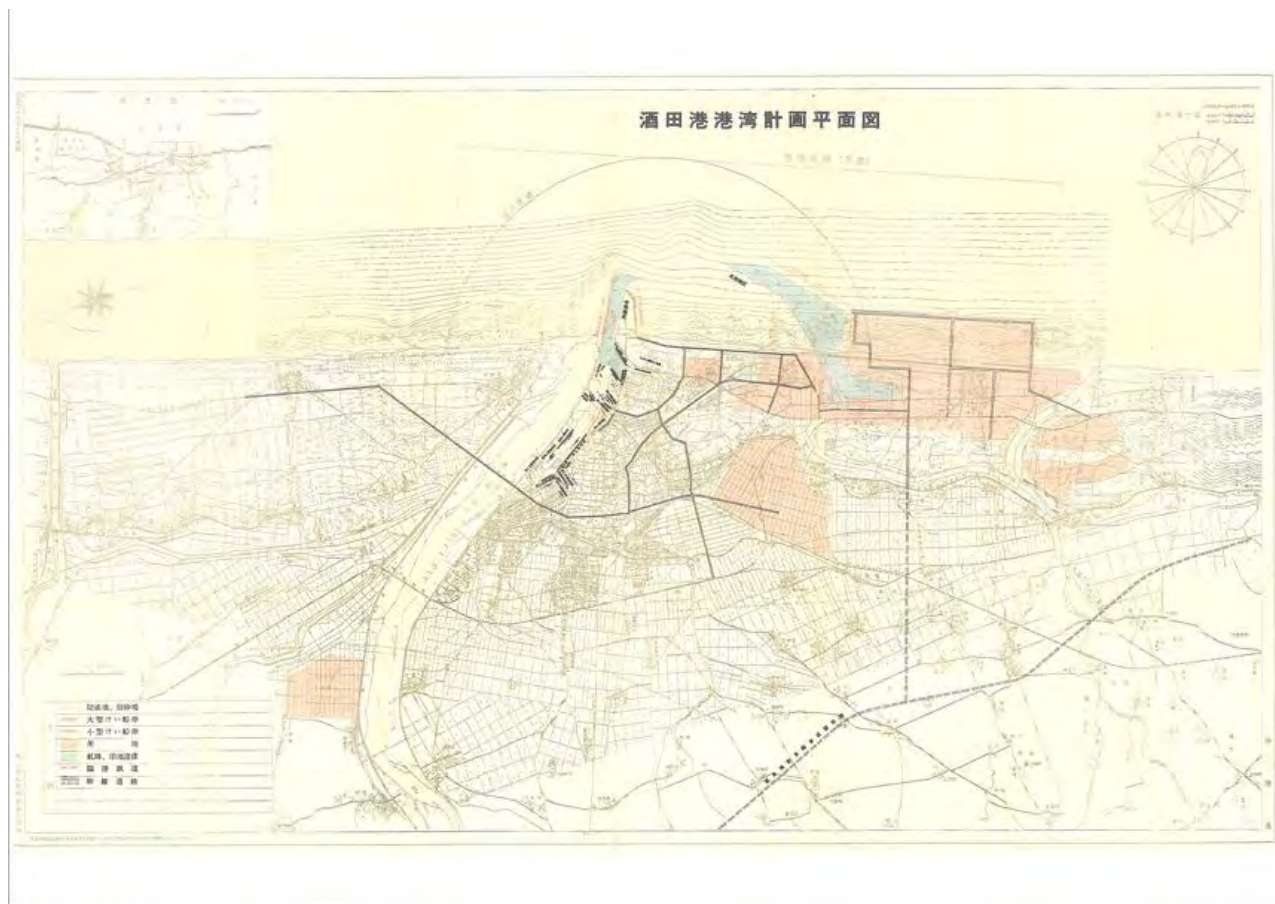
		<p>緑地 7.9ha</p> <p>埠頭整備（大浜地区） 2.5ha</p> <p>埠頭整備（水産岸壁） 0.5ha</p> <p>西埠頭港湾関連用地 4.6ha</p> <p>交流拠点用地 2.1ha</p> <p>外港地区：第2北防波堤 1,353m</p> <p>岸壁（-14.0） 560m</p> <p>岸壁（-12.0） 240m</p> <p>航路 -14.0m 317,000 m<sup>3</sup></p> <p>泊地 -14.0m 1,625,000 m<sup>3</sup></p> <p>廃棄物処理護岸 1,890m</p> <p>臨港道路（大浜宮海線） 3,000m</p> <p>臨港道路（外港埠頭線） 630m</p> <p>緑地 4.3ha</p> <p>埠頭整備 48.5ha</p> <p>上屋整備 4棟</p> <p>荷役機械（多目的クレーン） 1基</p> <p>北港地区：岸壁（-10.0） 340m</p> <p>岸壁（-7.5） 260m</p> <p>泊地 -13m 357,000 m<sup>3</sup></p> <p>航路泊地 -7.5~-10.0 3,701,000 m<sup>3</sup></p> <p>臨港道路（立体交差1） 1式</p> <p>〃（立体交差2） 1式</p> <p>〃砂畑線 1,300m</p> <p>〃南浜線 600m</p> <p>〃宮海線 3,300m</p> <p>緑地 1.4ha</p> <p>用地買収 7ha</p> <p>埠頭整備（北港地区） 6ha</p> <p>〃（貯木場） 2.3ha</p> <p>上屋整備 1棟</p> <p>岸壁（-12.0） 240m</p> <p>岸壁（-10.0） 240m</p> <p>航路泊地 -10.0~-12.0 1,462,000 m<sup>3</sup></p> <p>工業用地造成 97.5ha</p>
平成7年11月	第15回 地方港湾審議会 軽易な変更	<p>（専用埠頭計画）</p> <p>北港地区：岸壁（-7.5m）190mの追加</p> <p>（外郭施設計画）</p> <p>本港地区：波除堤 20mの追加</p> <p>（小型船だまり計画）</p> <p>本港地区：物揚場（-2m~-3m）延長の変更</p>
平成10年2月	第18回 地方港湾審議会 軽易な変更	<p>（公共埠頭計画）</p> <p>本港地区：緑地 2ha を埠頭用地・港湾関連用地に用途変更</p>
平成16年8月	第21回 地方港湾審議会 軽易な変更	<p>（小型船だまり計画）</p> <p>本港地区：小型さん橋 2基の追加、埠頭用地の変更</p>
平成18年7月	交通政策審議会 第18回 港湾分科会 改訂	<p>外港地区：泊地（-14） 42ha</p> <p>第二北防波堤 2,050m</p> <p>緑地 11ha</p> <p>緑地 18ha</p> <p>岸壁（-14） 280m</p> <p>埠頭用地 16ha</p> <p>港湾関連用地 16ha</p> <p>工業用地 11ha</p> <p>交通機能用地 8ha</p> <p>緑地 52ha</p> <p>公共用地 5ha</p>

		<p>海面処分用地 41ha</p> <p>北港地区：泊地(-10) 12ha 古湊埠頭 施設撤去 岸壁(-10) 240m 埠頭用地 3ha 岸壁(-12) 240m ドルフィン(-7.5) 2 バース 緑地 4ha 物揚場(-3) 552m 泊地(-3) 2ha 埠頭用地 30ha 港湾関連用地 22ha 工業用地 405ha 交通機能用地 22ha 緑地 7ha</p> <p>本港地区：岸壁(-10) 170m 埠頭用地 3ha 岸壁(-7.5) 130m 大浜航路(-10) 160m～350m 南防波堤 2,050m 緑地 7ha 物揚場(-3) 628m 埠頭用地 3ha 泊地(-2～-3) 1ha 物揚場(-3) 100m 物揚場(-2) 26m 埠頭用地 1ha 物揚場撤去 25m 岸壁(-7.5) 290m 岸壁(-5.5) 556m 岸壁(-4.5) 375m 埠頭用地 21ha 港湾関連用地 26ha 交流厚生用地 2ha 工業用地 85ha 危険物取扱施設用地 6ha 交通機能用地 17ha 緑地 16ha</p>
平成 24 年 7 月	第 24 回 山形県 地方港湾審議会 軽易な変更	<p>(危険物取扱施設計画)</p> <p>本港地区：ドルフィン 1 バース (専用) を水深 7.5m に変更 (水域施設計画)</p> <p>本港地区：泊地 (水深 7.5m 面積 2ha、水深 7m 面積 6ha) に変更</p>
平成 27 年 1 月	第 26 回 山形県 地方港湾審議会 軽易な変更	<p>(専用埠頭計画)</p> <p>北港地区：12m×1 バース 計画削除 (水域施設計画)</p> <p>北港地区：泊地 (水深 10m、面積 14.2ha) に変更 (臨港交通施設計画)</p> <p>北港地区：酒田臨海 1 号線の配置変更 酒田臨海 2 号線の配置変更 (港湾環境整備施設計画)</p> <p>外港地区：緑地 1ha の追加 (土地利用計画)</p> <p>外港地区：緑地を 53.2ha に変更 北港地区：交通機能用地を 22.2ha に変更</p>

<p>平成 27 年 3 月</p>	<p>交通政策審議会 第 59 回 港湾分科会 一部変更</p>	<p>(廃棄物処理計画) 外港地区：海面処分用地 41ha を海面処分・活用用地に変更 (港湾環境整備施設計画) 外港地区：3.9ha を緩衝緑地に変更 (土地利用計画) 外港地区：工業用地を 48.3ha に変更 緑地を 57.1ha に変更</p>
--------------------	--	--



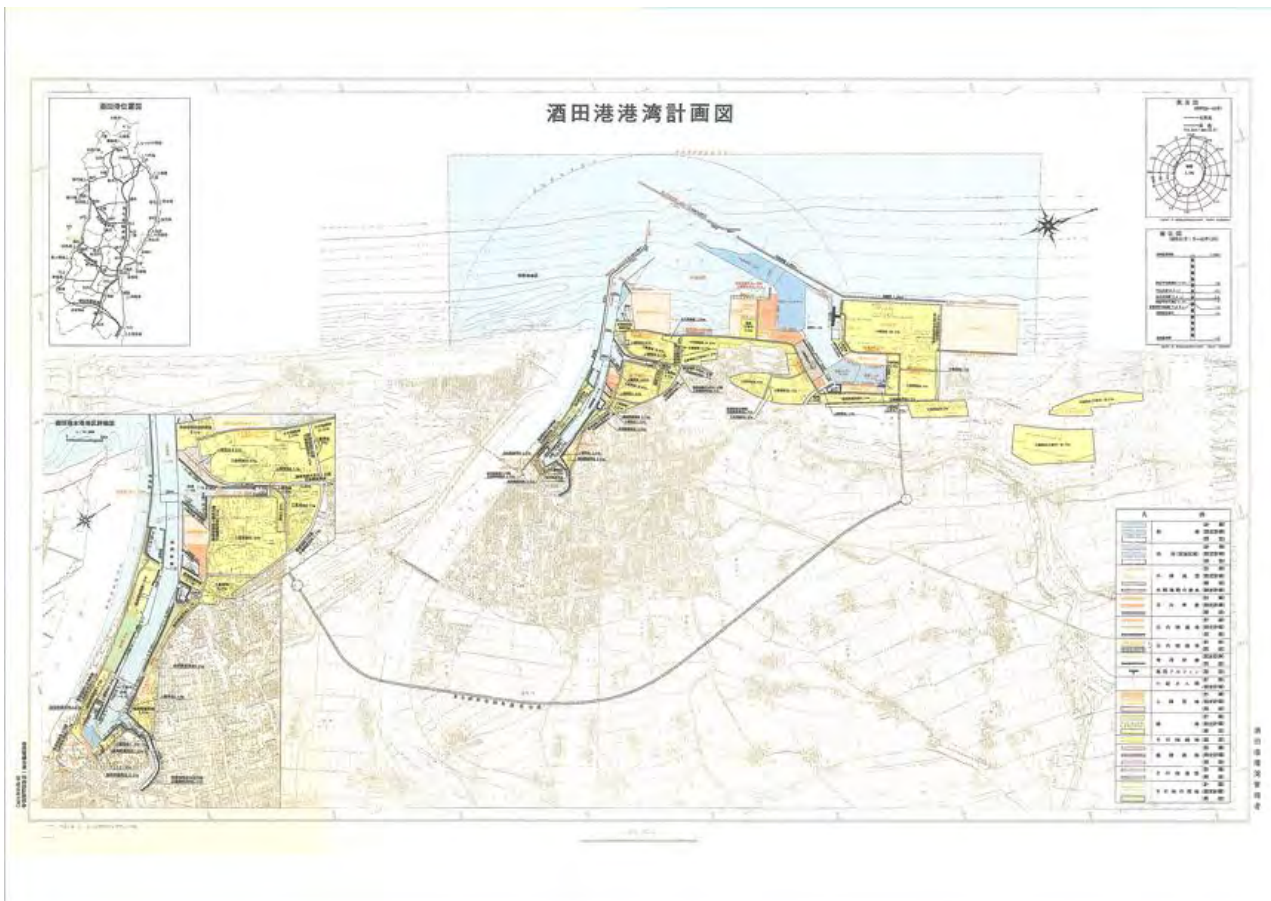
図Ⅶ-5-1 港湾審議会第26回計画部会(昭和41年3月改訂)



図Ⅶ-5-2 港湾審議会第43回計画部会(昭和45年8月改訂)

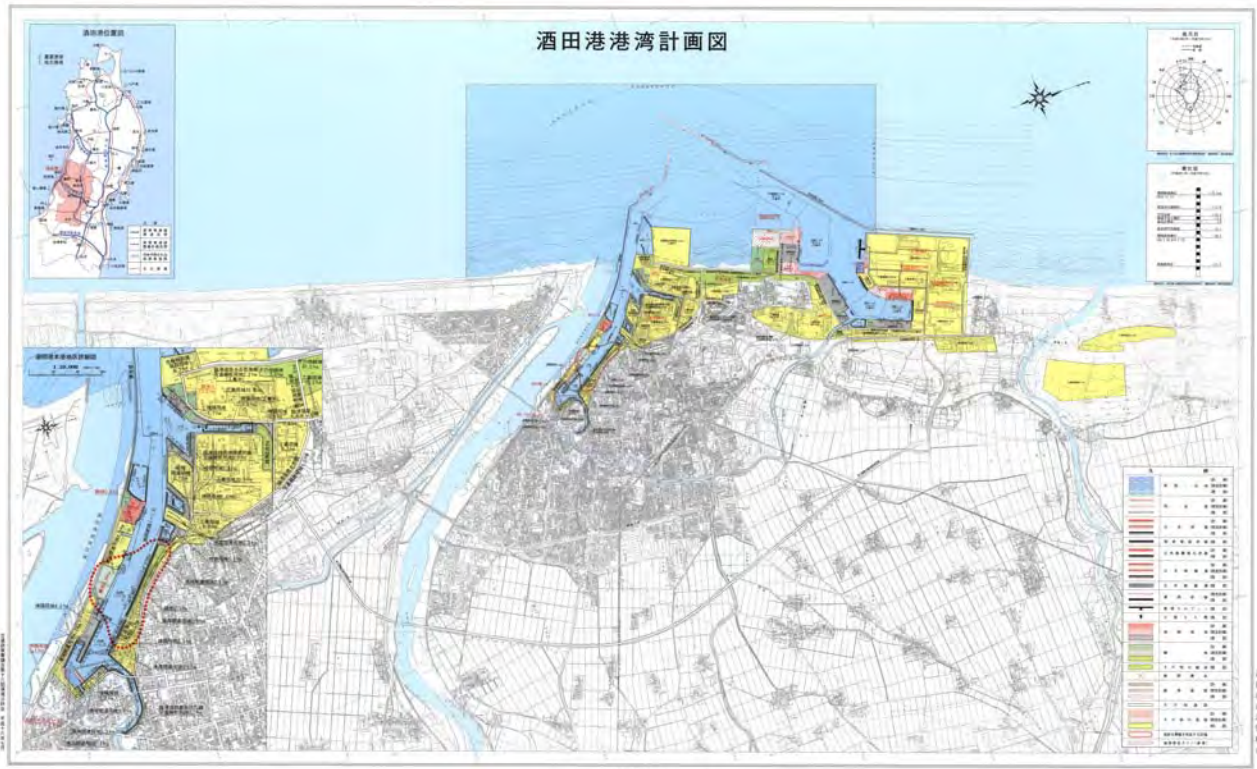


図Ⅶ-5-3 港湾審議会第99回計画部会(昭和57年8月改訂)



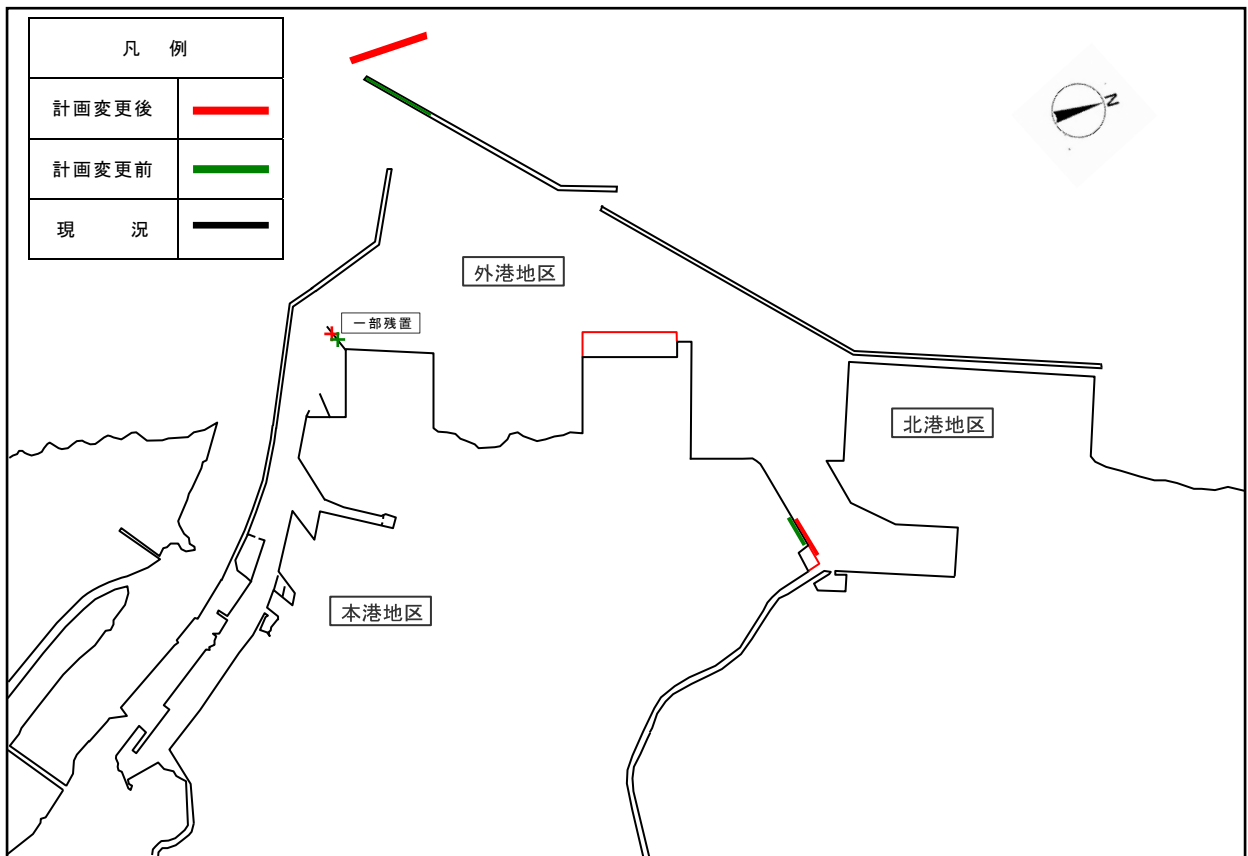
図Ⅶ-5-4 港湾審議会第144回計画部会(平成5年3月改訂)





図Ⅶ-5-5 交通政策審議会第18回港湾分科会(平成18年7月改訂)

## 6. 新旧法線対照図



図VII-6-1 新旧法線対照図

## 7. 地方港湾審議会名簿

令和2年1月1日現在

氏名	役職
徳永幸之	宮城大学 事業構想学群 教授
弦巻伸	酒田商工会議所 会頭
前田直之	前田ホールディングス株式会社 代表取締役社長
相馬佳苗	Office K&M 代表
小関久恵	東北公益文科大学 講師
伊藤美代子	特定非営利活動法人酒田港女みなと会議元理事長
加藤明子	有限会社チアーズ代表取締役
平岡清康	酒田海陸運送株式会社 代表取締役社長
本間昭志	山形県漁業協同組合 代表理事組合長
松浦安洋	酒田水先区水先人会 会長
泉直樹	日本通運株式会社 酒田支店長
川手純一	酒田曳船株式会社 代表取締役社長
丸山至	酒田市長
皆川治	鶴岡市長
吉田耕一郎	国土交通省東北運輸局長
佐藤克英	国土交通省東北地方整備局長
小島孝文	林野庁東北森林管理局長
辰巳屋誠	酒田海上保安部長
岸本浩	東京税関長